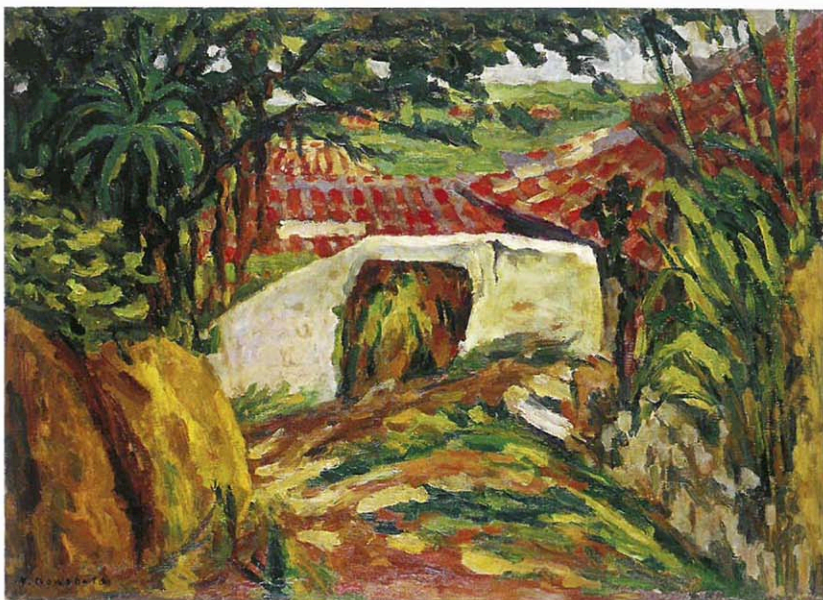


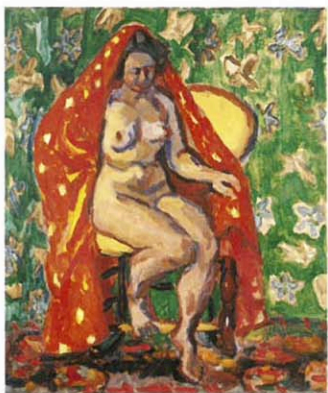
# 川端彌之助と春陽会の仲間たち

2015(平成27)年9月15日(火)～10月10日(土)

10:30AM—6:00PM (日曜・月曜休廊)



川端彌之助「琉球ガジュマルの道」1941(昭和16)年 第19回春陽会展 65.0×90.5cm



国盛義篤「裸女習作」1950(昭和25)年

洋画家としては異色の経歴(慶應義塾大学法学部卒業)の持ち主川端彌之助(八九三～一九八二)は、フランス留学後の一九二五年に春陽会展で滯欧作品を発表して以来、その生涯にわたり春陽会展を作品発表の場とした。本展では川端の遺作を中心に、春陽会創立時の画家や川端と同時代に活躍した春陽会の画家たちの作品を展覧する。

明るく大胆な筆触によるてらいたない画風の川端弥之助は、京都美大と嵯峨美の教職を通じて後進画家を指導し、京都洋画壇の発展に寄与した功労者のひとりである。

没後三十年を過ぎてなお、「やのさん」と慕う京都市民は数多い。



樺 貞雄「鶴沼風景」1922(大正11)年



森田恒友「漁夫の家族」1912(大正元年)

## 星野画廊

京都市東山区神宮道三条上ル  
〒605-0033

電話 (075) 771-3670  
FAX (075) 771-7667